

## 疫学研究の実施に関する情報公開

静岡社会健康医学大学院大学では、2024年2月7日付で研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の疫学研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。パネル調査に参加した16・17歳の親権者の方が、この研究のために情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、パネル調査時にお伝えした番号を添えて下記問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	電波に対するリスク認知に関する疫学研究（一般公衆のパネル調査）
研究機関名	静岡社会健康医学大学院大学
研究責任者	小島原典子
研究期間	2024年2月から10年間
対象者	16歳以上の日本在住者
研究の目的	第5世代移動通信システム（5G）の導入による認知機能などへの健康影響について、GOLIAT 国際研究*の一環として一般公衆の電波に対するリスク認知の特徴を半定量的に同定することを目的とします。
研究の方法	パネル調査会社を通じて、日本の一般公衆1000名を日本9地域（北海道、東北、関東、東海、北陸、関西、四国、中国、九州）から年齢・性別に人口比率に合わせて抽出し、本研究に同意いただいた方にWeb調査に回答していただきます。 研究に利用する情報は、家族構成、職業など社会的因子のほか、電波ばく露に関する知識、電波に対するリスク認知ですが、氏名・住所など個人を特定できる情報は一切収集いたしません。
データの提供と2次利用	調査結果は、個人情報を含まない形で、GOLIAT 国際研究のサーバーに安全に保管され、共同研究者の代表者のExeter大学（英国）にて解析されます。論文として公開されるときに個人が特定されることはありません。将来的な2次利用をする場合は、改めて情報公開を行います。
* GOLIAT 国際研究	2022年からスペイン（ISGlobal）を研究責任者として電波のリスクコミュニケーションに関するGOLIAT研究がEU21か国で始まりました。日本は、そのうちの「電波の健康影響の理解、ばく露軽減、リスク認知に関するワーキングパッケージ（WP6）解析責任者：英国」に、オーストリア、ドイツなど計11か国で大規模パネル調査を行っています。 さらに詳しく知りたい方は、研究HPをご確認ください。 <a href="https://nk-lab.jp/risk_communication">https://nk-lab.jp/risk_communication</a>
研究の資金源	総務省：生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する評価技術研究「電波に関する持続可能なリスクコミュニケーションの方法論の確立」
問い合わせ先	静岡社会健康医学大学院大学 疫学事務局 〒420-8527 静岡市葵区北安東4-27-2 電話:054-295-5400